令和３（2021）年度 事業報告書及び事業報告の付属明細書

公益財団法人矢崎科学技術振興記念財団
理 事 長　佐 藤　慎 一

本年度におきましては、令和３（2021）年度事業計画に基づき、科学技術の振興を目的に下記の事業を実施致しましたので報告致します。

記

1. 事業の運営者
役員、評議員、選考委員、表彰選考委員　　別紙―1 の通り

2. 主要業務の記録
主要業務日誌　　別紙―2 の通り

3. 研究助成の実施内容
研究対象領域を「新材料」「エネルギー」「情報」として、「一般研究助成」5 件、若手研究者を対象とした「奨励研究助成」9 件を、採択した。
特定研究助成については、社会的価値を重視した独創的で、かつ実現可能性の高い革新的技術という条件で次の 2 テーマについて公募した。審査の結果、本年度においては該当なしと結論づけた。

メインテーマ_1 人の活動を高度に支援するための革新的技術に関する研究
メインテーマ_2 革新的なモビリティ社会の構築を支える基盤技術に関する研究

また、特定研究助成の継続審査について、令和２（2020）年度の受領者に対する２年目の助成を審議し、助成を継続することとした。

当助成の応募状況、助成件数、助成金額の概要は次の通りである。

	応募件数	採択件数	助成金額	備　　考
一 般 研 究 助 成	61 件	5 件	10,000 千円	
奨 励 研 究 助 成	41 件	9 件	9,000 千円	
特 定 研 究 助 成	8 件	該当なし	―	
同上 令和 2 年度	－	－	3,800 千円	2 年目分 1 件
計	110 件	14 件	22,800 千円	

4. 国際交流援助の実施内容

「新材料」「エネルギー」「情報」に関わる研究分野での国際交流を対象として国際集会へ参加するための渡航、共同研究を実施するための渡航援助について公募を実施した。

本年度も昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症のため、学会は Web 開催が中心となり、採択件数は 0 件であった。

	応募件数	採択件数	援助金額
前　期	0 件	0 件	0　円
中　期	1 件	0 件	0　円
後　期	0 件	0 件	0　円
計	1 件	0 件	0　円

5. 矢崎学術賞の実施内容

一般研究助成受領者に本年度より特定研究助成受領者を対象に加えた「功績賞」と、奨励研究助成受領者を対象とする「奨励賞」の 2 つの矢崎学術賞について、助成を受けた研究者が研究終了報告書提出の翌年から 3 年間を応募権利があることとして募集し、8 件の応募があった。

本年度対象に加えた特定研究助成受領者からの応募は 0 件であった。継続的に応募状況を確認する。

選考委員会で慎重な審査の上、以下の研究者に贈呈することとした。

功 績 賞	京都大学　化学研究所	教授　島川　祐一
奨 励 賞	東京大学　物性研究所	助教　平井　大悟郎

6. 付属明細書について

令和3（2021）年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する付属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成しない。

以上

別紙-1

令和3（2021）年度　理事・監事・評議員・選考委員名簿

令和3年6月21日

（公財）矢崎科学技術振興記念財団

役　　員		評　議　員	
理 事 長	佐藤　慎一	評 議 員	伊賀　健一
常務理事	砂山　竜男	評 議 員	今中　信人
理　　事	岡部　直明	評 議 員	小舘香椎子
理　　事	白井　克彦	評 議 員	富田　和男
理　　事	波多野睦子	評 議 員	中島　真人
理　　事	樋口　忠夫	評 議 員	半田　　宏
理　　事	松本　博輔	評 議 員	矢﨑　裕彦
理　　事	矢﨑　信二	評 議 員	山岸喜一郎
理　　事	山本　雅和	評 議 員	渡辺　　正
監　　事	岡田　明重		
監　　事	山口　睦男		

選 考 委 員		表 彰 選 考 委 員
委 員 長	中島　真人	選考委員が兼任
委　　員	今中　信人	
委　　員	小田　俊理	
委　　員	竹田　義行	
委　　員	富田　和男	
委　　員	半田　　宏	
委　　員	山岸喜一郎	
委　　員	湯本　潤司	
委　　員	渡辺　　正	
委　　員	渡邉　泰之	

別紙-2

主要業務日誌

（2021年度）

年月日	主　要　業　務
2021.4.01	2021年度研究助成・援助・表彰のご案内を国・公・私立大学工学部長、工業高専学校長並びに学校・協会等付属研究機関長あて発送
4.20	国際交流援助（前期）応募締切、応募なし
5.13	第40回通常理事会開催(Web会議)、2020年度事業報告及び決算の承認他
5.24	技術参与他、研究助成2020年度受領者研究インタビュー（東京理科大学・根岸雄一教授）。
6.1	第26回定時評議員会開催(Web会議)、2020年度事業報告及び決算の承認他
6.10	2020年度事業報告等を内閣府あて提出（電子申請）
6.15	常務理事他、学術賞2020年度受賞者研究インタビュー（東京大学・三輪真嗣准教授）。
6.18	矢崎総業(株)より寄付金10,000千円を受領、運用資産に繰り入れ
6.21	第41回臨時理事会のみなし決議、理事長の選定
7.6	技術部長他、研究助成2020年度受領者研究インタビュー（筑波大学・所裕子教授）。
7.14	常務理事他、研究助成2020年度受領者研究インタビュー（東北大学・本間格教授）。
7.15	技術参与他、研究助成2020年度受領者研究インタビュー（筑波大学・中村貴志助教）。
7.27	変更届を内閣府あて提出（理事長交代）
7.30	技術部長他、研究助成2020年度受領者研究インタビュー（東京理科大学・川脇徳久助教）。
8.18	技術参与他、研究助成2020年度受領者研究インタビュー（大阪大学・髙島義徳教授）。
8.20	国際交流援助（中期）応募締切、応募総数1件受理
8.23	常務理事他、研究助成2020年度受領者研究インタビュー（名古屋大学・土肥侑也助教）。
8.31	2020年度一般・奨励・特定研究助成および学術賞応募締切、一般61件、奨励41件、特定8件、学術賞8件の応募を受理
9.9	技術参与他、研究助成2020年度受領者研究インタビュー（広島大学・今任景一助教）。
9.16	常務理事他、研究助成2020年度受領者研究インタビュー（岡山大学・鈴木弘朗助教）。
9.22	技術参与他、研究助成2020年度受領者研究インタビュー（大阪大学・有澤光弘教授）。
9.29	国際交流援助（中期）に関し選考委員長による最終選考および理事長による決定後、1件を採択（援助額92千円）、採否通知を発送（学会がオンライン開催となったため、後日、辞退の申し入れ有）
10.6	技術参与他、研究助成2020年度受領者研究インタビュー（慶應大学・松久直司専任講師）。
10.11	技術部長他、研究助成2020年度受領者研究インタビュー（横浜国立大学・水野洋輔准教授）。
10.13	矢崎学術賞面接審査対象者の推薦人あて評価依頼を発送
10.14	技術部長他、研究助成2020年度受領者研究インタビュー（早稲田大学・多和田雅師次席研究員）。
10.27	技術参与他、研究助成2020年度受領者研究インタビュー（弘前大学・呉羽拓真助教）。
11.10	技術参与他、研究助成2020年度受領者研究インタビュー（大阪大学・石割文崇講師）。

11.30	選考委員会を開催(Web会議)し、下記を理事長に報告 1) 採択候補者として一般研究助成5名・奨励研究助成10名を選考 2) 採択候補者として特定研究助成1名を選考 3) 矢崎学術賞の受賞候補者2名(功績賞1名・奨励賞1名)を選考
12.21	第42回通常理事会開催(Web会議)、2022年度事業計画及び収支予算案の承認他
2022.1.10	国際交流援助(後期)募集締切、応募なし
2.9	第43回臨時理事会みなし決議、第27回臨時評議員会の開催方法変更および国際交流援助(後期)採択について決定
2.18	矢崎総業(株)、矢崎エナジーシステム(株)より寄付金合計10,000千円を受領、 運用資産に繰り入れ
3.10	第27回臨時評議員会開催(Web会議) 1)2021年度 事業報告及び収支見込の報告、承認 2)2021年度 選考委員会経過報告、受領者等の決定 3)2022年度 事業計画案及び収支予算案の報告、承認 4)第28回定時評議員会の開催事項報告 5)基本財産の指定その他
3.15	変更届を内閣府あて提出(応募分野・助成内容変更)
3.29	2022年度 事業計画書等を内閣府あて提出(電子申請)

令 和 3 年 度

決　算　報　告　書

令和 3年 4月 1日から
令和 4年 3月31日まで

―― 目　　次 ――

Ⅰ　貸　借　対　照　表

Ⅱ　正味財産増減計算書

Ⅲ　附　属　明　細　書

Ⅳ　財　　産　　目　　録

東 京 都 港 区 虎 ノ 門 1 丁 目 1 3 番 3 号
（虎ノ門東洋共同ビル内）

公益財団法人　　矢崎科学技術振興記念財団

Ⅰ　貸借対照表

令和 4年　3月31日現在

公益財団法人　矢崎科学技術振興記念財団

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資　産　の　部			
1 流動資産			
現金預金	14,207,661	12,850,134	1,357,527
有価証券	180,442	180,442	0
前払金	0	309,287	△ 309,287
流動資産合計	14,388,103	13,339,863	1,048,240
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	924,100,000	924,100,000	0
基本財産合計	924,100,000	924,100,000	0
(2) 特定資産			
特定費用準備資金	10,000,000	9,000,000	1,000,000
特定資産合計	10,000,000	9,000,000	1,000,000
(3) その他の固定資産			
投資有価証券	838,344	2,047,811	△ 1,209,467
電話加入権	80,562	80,562	0
保証金	2,850,000	2,850,000	0
その他の固定資産合計	3,768,906	4,978,373	△ 1,209,467
固定資産合計	937,868,906	938,078,373	△ 209,467
資産合計	952,257,009	951,418,236	838,773
Ⅱ 負　債　の　部			
1 流動負債			
未払金	0	0	0
預り金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄附金	924,100,000	924,100,000	0
指定正味財産合計	924,100,000	924,100,000	0
（うち基本財産への充当額）	(924,100,000)	(924,100,000)	0
2 一般正味財産	28,157,009	27,318,236	838,773
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	0
（うち特定財産への充当額）	(10,000,000)	(9,000,000)	(1,000,000)
正味財産合計	952,257,009	951,418,236	838,773
負債及び正味財産合計	952,257,009	951,418,236	838,773

Ⅱ　正味財産増減計算書

令和 3年4月1日から令和 4年 3月31日まで

公益財団法人　矢崎科学技術振興記念財団
（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
⑴ 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	18,930,582	18,504,698	425,884
② 受取寄付金			
受取寄付金	20,000,000	20,000,000	0
受取寄付金振替額	0	10,000,000	△ 10,000,000
③ 雑収益			
受取利息	695	938	△ 243
経常収益計	38,931,277	48,505,636	△ 9,574,359
⑵ 経常費用			
① 事業費			
支払助成金	23,600,000	26,036,000	△ 2,436,000
一般研究助成費	10,000,000	10,000,000	0
奨励研究助成費	9,000,000	10,000,000	△ 1,000,000
国際交流援助費	0	△ 164,000	164,000
特定研究助成費	3,800,000	5,400,000	△ 1,600,000
矢崎学術賞費	800,000	800,000	0
給与手当	507,350	466,750	40,600
福利厚生費	69,580	64,370	5,210
会議費	42,500	402,080	△ 359,580
旅費交通費	0	20,070	△ 20,070
通信運搬費	436,993	432,860	4,133
消耗品費	52,332	35,750	16,582
印刷製本費	0	0	0
光熱水道費	122,609	133,611	△ 11,002
賃借料	3,970,260	3,982,608	△ 12,348
諸謝金	3,096,110	3,007,020	89,090
サイト運営費	1,278,024	839,520	438,504
雑費	127,490	285,010	△ 157,520
事業費計	33,303,248	35,705,649	△ 2,402,401
② 管理費			
役員報酬費	1,470,084	1,470,084	0
給料手当	507,350	466,750	40,600
福利厚生費	69,580	64,370	5,210
会議費	55,000	128,482	△ 73,482
旅費交通費	25,400	12,600	12,800
通信運搬費	187,283	185,511	1,772
消耗品費	22,428	15,322	7,106
印刷製本費	57,860	52,250	5,610
光熱水道費	52,547	57,262	△ 4,715
賃借料	1,701,540	1,706,832	△ 5,292
登記・コピー等手数料	118,033	139,813	△ 21,780
支払負担金	182,000	182,000	0
雑費	340,151	268,248	71,903
管理費計	4,789,256	4,749,524	39,732
経常費用計	38,092,504	40,455,173	△ 2,362,669
評価損益等調整前当期経常増減額	838,773	8,050,463	△ 7,211,690
基本財産評価損益等	0	0	0
投資有価証券損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	838,773	8,050,463	△ 7,211,690

Ⅱ　正味財産増減計算書

令和 3年4月1日から令和 4年 3月31日まで

公益財団法人　矢崎科学技術振興記念財団

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増減
2 経常外増減の部			
⑴ 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
⑵ 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
指定正味財産からの振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	838,773	8,050,463	△ 7,211,690
一般正味財産期首残高	27,318,236	19,267,773	8,050,463
一般正味財産期末残高	28,157,009	27,318,236	838,773
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
⑴ 基本財産運用益			
基本財産受取利息	18,930,582	18,504,698	425,884
基本財産償還差益	0	0	0
⑵ 基本財産評価損益			
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
⑶ 一般正味財産への振替額	△ 18,930,582	△ 28,504,698	9,574,116
当期指定正味財産増減額	0	△ 10,000,000	10,000,000
指定正味財産期首残高	924,100,000	934,100,000	△ 10,000,000
指定正味財産期末残高	924,100,000	924,100,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	952,257,009	951,418,236	838,773

（注1）経常費用の科目における支出実績は次により算出した。

①支払助成金、役員報酬費、会議費、旅費交通費、印刷製本費、諸謝金、租税公課、支払負担金及び雑費については直接対応(使途に応じて事業費又は管理費に区分)による。

②給与手当及び福利厚生費については当該者の個人従事割合(事業費と管理費の割合は50%対50%)による。

③通信運搬費、消耗品費、光熱水料費及び賃借料については全体従事割合(事業費と管理費の割合は70%対30%)による。

Ⅱ　正味財産増減計算書内訳表

令和 3年4月1日から令和 4年 3月31日まで

公益財団法人　矢崎科学技術振興記念財団

（単位：円）

科目	助成事業	小計	法人会計（管理費）	合計
Ⅰ一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
⑴ 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	18,930,582	18,930,582	0	18,930,582
② 受取寄付金				
受取寄付金	14,000,000	14,000,000	6,000,000	20,000,000
受取寄付金振替額	0	0	0	0
③ 雑収益		0		0
受取利息	695	695	0	695
経常収益計	32,931,277	32,931,277	6,000,000	38,931,277
⑵ 経常費用				
① 事業費				
支払助成金	23,600,000	23,600,000	－	23,600,000
一般研究助成費	10,000,000	10,000,000	－	10,000,000
奨励研究助成費	9,000,000	9,000,000	－	9,000,000
国際交流援助費	0	0	－	0
特定研究助成費	3,800,000	3,800,000	－	3,800,000
矢崎学術賞費	800,000	800,000	－	800,000
給与手当	507,350	507,350	－	507,350
福利厚生費	69,580	69,580	－	69,580
会議費	42,500	42,500	－	42,500
旅費交通費	0	0	－	0
通信運搬費	436,993	436,993	－	436,993
消耗品費	52,332	52,332	－	52,332
印刷製本費	0	0	－	0
光熱水道費	122,609	122,609	－	122,609
賃借料	3,970,260	3,970,260	－	3,970,260
諸謝金	3,096,110	3,096,110	－	3,096,110
サイト運営費	1,278,024	1,278,024	－	1,278,024
雑費	127,490	127,490	－	127,490
事業費計	33,303,248	33,303,248	－	33,303,248
② 管理費				
役員報酬費	－	－	1,470,084	1,470,084
給料手当	－	－	507,350	507,350
福利厚生費	－	－	69,580	69,580
会議費	－	－	55,000	55,000
旅費交通費	－	－	25,400	25,400
通信運搬費	－	－	187,283	187,283
消耗品費	－	－	22,428	22,428
印刷製本費	－	－	57,860	57,860
光熱水道費	－	－	52,547	52,547
賃借料	－	－	1,701,540	1,701,540
登記・コピー等手数料	－	－	118,033	118,033
支払負担金	－	－	182,000	182,000
雑費	－	－	340,151	340,151
管理費計	－	－	4,789,256	4,789,256
経常費用計	33,303,248	33,303,248	4,789,256	38,092,504
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 371,971	△ 371,971	1,210,744	838,773
基本財産評価損益等	0	0	0	0
投資有価証券損益等	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 371,971	△ 371,971	1,210,744	838,773

Ⅱ　正味財産増減計算書内訳表

令和 3年4月1日から令和 4年 3月31日まで

公益財団法人　矢崎科学技術振興記念財団

（単位：円）

科　　目	助成事業	小　計	法人会計（管理費）	合　計
2 経常外増減の部				
⑴ 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
⑵ 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 371,971	△ 371,971	1,210,744	838,773
一般正味財産期首残高	27,318,236	27,318,236	0	27,318,236
一般正味財産期末残高	26,946,265	26,946,265	1,210,744	28,157,009
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
⑴ 基本財産運用益				
基本財産受取利息	18,930,582	18,930,582	0	18,930,582
基本財産償還差益				
⑵ 基本財産評価損益				
基本財産評価益	0	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0	0
⑶ 一般正味財産への振替額	△ 18,930,582	△ 18,930,582	0	△ 18,930,582
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	924,100,000	924,100,000	0	924,100,000
指定正味財産期末残高	924,100,000	924,100,000	0	924,100,000
Ⅲ 正味財産期末残高	951,046,265	951,046,265	1,210,744	952,257,009

（注1）経常費用の科目における支出実績は次により算出した。

①支払助成金、役員報酬費、会議費、旅費交通費、印刷製本費、諸謝金、租税公課、支払負担金及び雑費については直接対応(使途に応じて事業費又は管理費に区分)による。

②給与手当及び福利厚生費については当該者の個人従事割合(事業費と管理費の割合は50%対50%)による。

③通信運搬費、消耗品費、光熱水料費及び賃借料については全体従事割合(事業費と管理費の割合は70%対30%)による。

Ⅲ　附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記3「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、省略します。

財務諸表に対する注記

公益財団法人　矢崎科学技術振興記念財団

1．重要な会計方針

⑴　有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の有価証券は取得価額による方法を採用しています。

ただし、債券金額と異なる価額で取得した債券で当該差額が金利の調整と認められるものは償却原価法（定額法）によっています。

その他の有価証券は決算日の市場価格等に基づく時価法によっています。

⑵　貸借対照表内訳表の作成

本財団は公益目的事業以外の事業を行っていないので、貸借対照表内訳表は作成していません。

2. 会計方針の変更

⑴　公益法人会計基準

平成２２年４月１日以降開始する事業年度から「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、改正同21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用しています。

⑵　事業年度の開始日及び末日

本財団は、平成２２年６月１４日に公益財団法人へ移行しました。これに伴い、公益財団法人としての第1期の事業年度(平成22年度)は、同22年６月14日から同23年３月31日までとなっております。

3．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりです。

（単位：　円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	924,100,000	0	0	924,100,000
小計	924,100,000	0	0	924,100,000
特定資産				
特定費用準備資金	9,000,000	1,000,000	0	10,000,000
小計	9,000,000	1,000,000	0	10,000,000
合計	933,100,000	1,000,000	0	934,100,000

4．基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりです。

（単位：　円）

科目	当期末残高	[うち指定正味財産からの充当額]	[うち一般正味財産からの充当額]	[うち負債に対応する額]
基本財産				
投資有価証券	924,100,000	924,100,000	0	－
小計	924,100,000	924,100,000	0	－
特定資産				
特定費用準備資金	10,000,000	－	1,000,000	－
小計	10,000,000	－	1,000,000	－
合計	934,100,000	924,100,000	1,000,000	－

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりです。

（単位 ： 円）

科　　目	帳簿価額	時価	評価損益
ユーロ円債	100,000,000	90,860,000	△ 9,140,000
ユーロ円債	100,000,000	90,860,000	△ 9,140,000
ユーロ円債	100,000,000	89,944,000	△ 10,056,000
ユーロ円債	100,000,000	95,574,000	△ 4,426,000
ユーロ円債	100,000,000	85,921,000	△ 14,079,000
ユーロ円債	100,000,000	99,400,000	△ 600,000
ユーロ円債	100,000,000	93,490,000	△ 6,510,000
ユーロ円債	100,000,000	94,350,000	△ 5,650,000
社債	100,838,344	100,590,000	△ 248,344
定期預金	24,100,000	24,100,000	0
合　　計	924,938,344	865,089,000	△ 59,849,344

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりです。

（単位 ： 円）

内　　容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	18,930,582
受取寄付金振替額	0
合　　計	18,930,582

7. その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項は次の通りです。

（1） 金融商品に関する取組方針

当法人は、法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券、株式、投資信託、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。 当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品（仕組債）のみであり、一定の金額を限度としている。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

（2） 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式、投資信託、デリバティブ取引を組み込んだ債券（仕組債）であり、発行体の信用リスク、市場リスク、（金利変動リスク、為替変動リスクおよび市場価格の変動リスク）にさらされている。なお、投資有価証券には、リスクが高いものとして、中途解約が著しく制約されていることにより、満期到来までに資金化することが極めて困難な流動性に乏しい債券（仕組債）900,000,000円が含まれている。

（3） 金融商品のリスクにかかる管理体制

① 資産運用規定に基づく取引

金商品の取引は、当法人の資産運用規定に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券や仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

Ⅳ　財　産　目　録

令和 4年　3月31日現在

公益財団法人　矢崎科学技術振興記念財団

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
（流動資産）	現　　金	手元保管	運転資金として	37,694
	預　　金	普通預金・定期預金 三菱UFJ銀行東京営業部	運転資金として	14,169,967
	有価証券	定期預金 大和ネクスト銀行	公益目的事業及び管理目的の財源として使用する財産である	180,442
	前払金		債券購入時の経過利子	0
流動資産合計				14,388,103
（固定資産） 基本財産	投資有価証券	国債他 （満期保有目的有価証券）	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	924,100,000
	基本財産合計			924,100,000
特定資産	特定費用準備資金	定期預金 三菱UFJ銀行東京営業部	R4年に40周年を記念する特定研究助成金増額の財源として特定費用準備資金として管理している。	10,000,000
	特定資産合計			10,000,000
その他 固定資産	投資有価証券	社債　大和証券	債権帳簿価額と債券価格の差額	838,344
	電話加入権	*03-5501-9831*	公益目的保有財産	56,393
			管理目的の財源として使用する財産	24,169
	保証金	東京都港区芝5-14-2 鈴木ビル3階	公益目的保有財産	1,995,000
			管理目的の財源として使用する財産	855,000
	その他固定資産合計			3,768,906
固定資産合計				937,868,906
資産合計				952,257,009
（流動負債）	未払金			0
負債合計				0
正味財産				952,257,009

監 査 報 告 書

公益財団法人
矢崎科学技術振興記念財団
理事長　佐藤　慎一　殿

令和 4 年 4 月 21 日
公益財団法人
矢崎科学技術振興記念財団

監　事　岡田明彦　印

監　事　山口晴男　印

私たち監事は、令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の遂行を監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受けました。そして、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度の係る事業報告及びその附属明細書について検討しました。

さらに会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対象表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1)事業報告書等の監査結果

① 事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。

② 理事の職務の執行に関する不正な行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2)計算書類等並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。